

## 平成22年度環境技術実証事業

小規模事業場向け有機性排水処理技術分野における実証試験結果報告書について  
(同時発表環境省)

平成 23 年 6 月 30 日 (木)

代 表 連 絡 先	社団法人 埼玉県環境検査研究協会 実証事業事務局 担当 野口、鈴木 電話 048-649-1151 (内 340・333) 直通 048-649-5496 メールアドレス news@saitama-kankyo.or.jp
-----------------------	---

社団法人埼玉県環境検査研究協会では、平成22年度環境技術実証事業「小規模事業場向け有機性排水処理技術分野」の実証機関として実証試験の実施・運営等を行い、結果報告書を作成し、このたび環境省の承認を得ましたのでお知らせします。

### 1. 背景・経緯

環境技術実証事業は、既に適用可能な段階にありながら、環境保全効果等についての客観的な評価が行われていないために、普及が進んでいない先進的環境技術について、その環境保全効果等を第三者が客観的に実証する事業を実施することにより、環境技術実証の手法・体制の確立を図るとともに、環境技術の普及を促進し、環境保全と環境産業の発展を促進することを目的とするものです。平成22年度環境技術実証事業 小規模事業場向け有機性排水処理技術分野において、社団法人埼玉県環境検査研究協会が実証機関として選定され、「小規模事業場向け有機性排水処理技術 実証試験要領（第3版）」（平成22年5月14日財団法人日本環境衛生センター、環境省水・大気環境局）に基づき実証対象技術（以下参照）について試験を実施し、その結果を実証試験結果報告書として取りまとめました。

### 2. 報告書の内容

今回実証試験を行った小規模事業場向け有機性排水処理技術分野の各実証対象技術は、食品加工工場及び大学学生食堂施設から排出される排水を処理するシステムです。今回の実証試験により、厨房から排出される排水を処理する性能等について確認されました。この技術の詳細な実証試験結果報告書等は、環境省・環境技術実証事業ウェブサイトの後日アップロードされますので、そこからダウンロードすることができます。[[http://www.env.go.jp/policy/etv/s02\\_c1.html](http://www.env.go.jp/policy/etv/s02_c1.html) 及び [http://www.env.go.jp/policy/etv/list\\_20.html](http://www.env.go.jp/policy/etv/list_20.html)]

なお、環境技術実証事業による技術実証の結果は、環境技術の性能を保証するものではなく、一定の条件下における環境技術の環境保全効果についてまとめたものです。この厨房排水処理技術についての詳しい説明等は、実証申請者に直接お問い合わせ下さい。

#### <平成22年度実証対象技術>

○食肉加工工場対応型 グリス・ECO（グリスエコ） FOS-900-1200

環境技術開発者：株式会社 大都技研／ URL <http://www.greaseeco.co.jp/>

○O G Tオーバルシステム

環境技術開発者：株式会社 ベストプラン／ URL <http://www.bestplan-t.com/>

### 3. ロゴマークの配布について

今回実証試験を行った2件の実証対象技術に対して、環境省からロゴマークが交付されましたので、各実証申請者に対してロゴマークを配布しました。